



## 大会時における感染防止対策

〈JFAの新型コロナウイルスの影響下における競技会・試合運営の手引きを参考〉

### 【自宅～会場到着時】

- ① 知人、家族などの帯同は避ける。
- ② 自宅を出る前に必ず検温する。(37.5℃以上は参加しない。発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合も参加しない。  
同居人や身近な人に感染が疑われる人がいる場合は参加しない。
- ③ 会場到着時は必ずマスクを着用。他選手との会話は必要以上にしない。
- ④ 会場到着時に手洗い、うがいを行う。石鹸は液体または泡石鹸を使用する。
- ⑤ チームの感染対策責任者は、当日の参加者全員(選手、スタッフ)に健康管理チェック同意書にあるチェック項目に従い、体調確認を行う。確認後に健康管理チェック同意書に署名を行い提出する。健康管理チェック項目に該当する者や体調が悪い者がいる場合は直ぐに帰宅させる。審判員、対戦チーム及び大会委員長に報告する。
- ⑥ 更衣室は原則、着替えのために限定する。人数の制限など配慮し、滞在時間を短くする。使用する場合は、アルコール消毒液を設置し、全てのドアや窓を開け密閉空間を作らないようにする。座席などは1.5～2mの間隔をあけ、お互いが正面に向き合わない(座らない)よう十分にゆとりがもてるよう配慮する。使用後には必ず、更衣室内全体を消毒する。
- ⑦ シャワーは使用しない。使用する場合は、人数の制限を行い密閉や密集空間を作らないように配慮する。使用後はシャワー室全体を洗い流す。
- ⑧ 各自で出したゴミは個々で収集し廃棄する。マスクや手袋などを着用し、ゴミはビニール袋等に入れて密閉して縛り、廃棄する。手袋を脱いだ後は石鹸で手洗いをする。

### 【ウォームアップ・練習時】

- ① 1.5～2mの間隔をあけ、個々でストレッチを行う。パートナーストレッチなどはしない。
- ② ランニングをする際には前後左右に十分な広さを保ち、並走で行う。横一列などでの実施が望ましい。
- ③ ボールを使用する場合は、パスやシュート練習に限る。対面で行う場合は十分な広さを保ち行う。(コンタクトプレーが発生する練習はしない)
- ④ 練習中、声をかけあわない。
- ⑤ 練習後は手洗い、うがいを行い、マスクを着用する。
- ⑥ 飲料用のボトルの共用はしない。(各自がボトルを持参する)



### 【試合前～試合終了】

- ① ユニフォームの色、キックオフチームなどは事前に対戦チームや審判担当チームの3者で決めておく。例えば、ユニフォームの色については、メールや電話などで決める。また、キックオフチームについては、組合せの左側のチームがキックオフ、右側チームは攻めるゴールを決めておくなど競技規則の緩和をはかり、柔軟に対応する。  
試合前のコイントスはしない。
- ② 審判員による用具チェック時は、メンバー表の順により審判員が一人ずつ確認する。その際には、審判員と選手の間は、1.5～2m程度の距離を保ち用具チェックをする。
- ③ 試合前のフェアプレーセレモニーは行わない。キックオフ前の円陣やハイタッチなどもしない。
- ④ 写真撮影はしない。
- ⑤ ベンチに入る者はマスクを着用。ベンチ内も1.5～2mの間隔（前後左右）をあけ、座席に座る。  
十分な間隔を取れない場合は、この限りではないが、極力、間隔をあける。
- ⑥ 交代要員のユニフォームはビニール袋などにいれてベンチに置く。交代要員のビブスは使用后、個々に持ち帰り洗濯する。
- ⑦ 交代要員のアップは、選手同士が密集しないように行う。一度に複数人のアップは控える。
- ⑧ ベンチ内では必要以上に会話はしない。テクニカルエリアでの戦術的な指示も控えるようにする。（大きな声は発しない）
- ⑨ 飲料用のボトルの共用はしない。（各自がボトルを持参する）  
※熱中症対策に関係なく、飲水タイムを導入する。
- ⑩ クーラーボックスやアイスボックスなど複数の人が触るものは使用しない。  
個々で用意することが望ましい。
- ⑪ ピッチ内でつばや口に含んだ水を吐かない。
- ⑫ 得点時にハイタッチや抱擁は行わない。
- ⑬ 交代時は、選手と審判員の間隔をあける。また、ハーフウェイラインでの交代時には選手同士のハイタッチや抱擁は行わない。
- ⑭ 倒れた選手に手を貸さない。  
※怪我の重症度にもよるが、緊急性を要する場合はこの限りではない。
- ⑮ ハーフタイム時に役員および選手全員が手洗い、うがいを行う。
- ⑯ ハーフタイム時は更衣室に入ることを極力避け、屋外でミーティングを実施し時間を短くする。ただし、対策を講じることができれば更衣室内を使用しても良い。



### 【試合終了後～自宅】

- ① 試合終了時は、フェアプレーセレモニーや両チームベンチへの挨拶はしない。
- ② 試合終了後は手洗い、うがいを行い、マスクを着用する。ユニフォームは迅速に着替え速やかにビニール袋に入れ、バッグにしまう。
- ③ クールダウンはしない。
- ④ チームのミーティングはしない。早く会場から退出する。  
複数の試合を同会場で開催する場合、複数のチームが重ならないよう時間的な配慮を行う。
- ⑤ 使用した備品類は使用後に消毒する。
- ⑥ 自宅到着後も手洗い、うがいを行う。体調が悪い場合はチーム代表者に連絡する。

### 【大会（試合）終了後】

- ① 大会（試合）終了後 5 日を目途にチームの感染対策責任者（監督もしくは代表者）は自チームの選手の体調確認（具合が悪い選手の有無）について大会委員長に報告すること。  
チーム（感染症対策責任者）は感染者が発生した場合に備え、参加者が健康管理チェックシートを記載し、一定の期間保管するよう促す。  
万が一、大会終了後（帰宅後）14 日以内に選手や運営スタッフの中から新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合は、保健所の指示に従うとともに、大会運営責任者に当該選手の健康チェックシートの提出と報告を行うこと。大会委員長は GFA にその旨を報告すること。必要に応じ、地域 FA また JFA に報告すること。また、感染対策責任者、大会運営責任者は個人情報の取り扱いには十分注意し対応すること。

## 大会参加から大会（試合）終了後までのフロー

### 【大会に参加するにあたり】

- ・チームは、大会参加にあたり全選手およびスタッフに大会参加への意志確認をとったうえで大会への参加を図る。



### 【参加決定】

- ・チームは、全選手およびスタッフに GFA4 種ガイドライン、大会要項および各関係団体からの通達を伝達し、大会参加にあたり情報共有を図る。



### 【大会前（試合前）】

- ・選手およびスタッフは健康管理チェックシートに基づき、自己の健康を観察する。



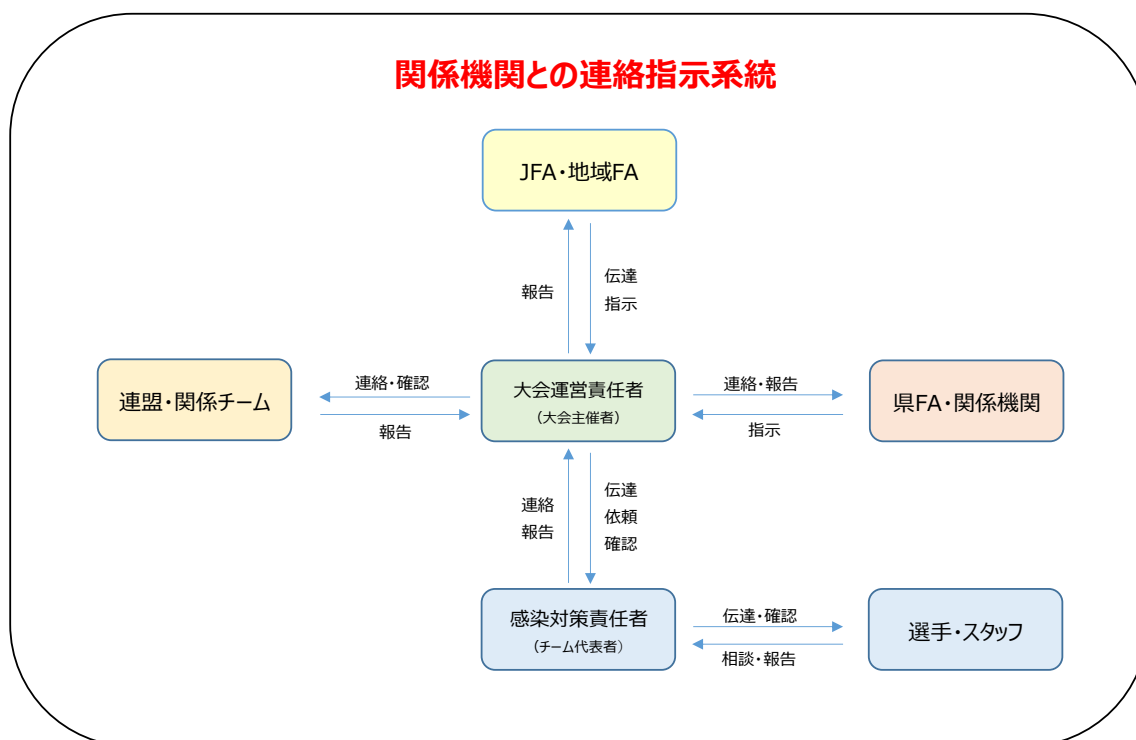
### 【大会当日】

- ・感染対策責任者は、当日参加選手およびスタッフの健康状態を確認し、健康管理チェック同意書に署名し、大会運営責任者に提出する
- ・会場滞在時は GFA4種ガイドラインに記載してある内容に基づき行動する。



### 【大会(試合)終了後】

- ・参加した選手およびスタッフは、大会(試合)終了後 5 日間までは自己の健康を観察する。また、体調に異変を感じた場合は速やかに感染対策責任者へ連絡する。
- ・感染対策責任者は、大会(試合)終了後、5 日間を目途に選手およびスタッフの健康状態を確認する。体調に異変を感じた者がいた場合は、速やかに大会運営責任者へ健康管理チェックシートの提出と報告をする。
- ・体調に異変を感じた者は、速やかに医療関係機関(保健所)へ連絡し指示を仰ぐこと。受診することが決まった場合は、感染対策責任者へ連絡する。感染対策責任者は大会運営責任者へ報告する。  
状況に応じ、大会運営責任者は出場チームへの連絡、県 FA、地域 FA、JFA に報告する。
- ・感染対策責任者は受信後の結果を含め、分かった時点で大会運営責任者へ報告する。



前述に記載した感染防止対策を講じても感染症のリスクをゼロにすることはできません。  
参加チームはその点を理解した上で、大会に参加してください。



参加する選手一人一人の自覚ある行動により、感染症のリスクコントロールをすることができます。  
現時点では、普段通り(新型コロナウイルス症の感染前)のサッカーをすることは非常に難しく、プレーを含めた全てのことが窮屈に感じるが多々ありますが、それでもサッカーができることに感謝し、皆様で一丸となり安全に大会が開催できるようにご協力をお願いいたします。

初版 2020.5.29

一部改訂 2020.6.2 3大会時における感染防止対策【自宅～会場到着時】⑤

【大会(試合)終了後】

追記 2020.6.2 大会参加から大会(試合)終了後までのフロー